

## 第546回 テレビ岩手放送番組審議会

1. 日 時 2018年11月20日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 7名

委員長	三浦 茂樹
副委員長	恒川 かおり
委員	佐藤 健志
委員	加藤 千晶
委員	渡辺 理雄
委員	前田 千香子
委員	石田 亨

欠席委員 2名

委員	大橋 綾子
委員	高橋 司

社側出席者

檜崎 憲二	(取締役会長)
榎野 信治	(代表取締役社長)
青山 尚之	(専務取締役 兼 営業局長)
柴柳 二郎	(報道制作局長)
小形 恵一	(報道制作局報道部長)
菊池 健	(報道制作局報道部専任部長)

事務局 遠藤 隆 (編成局放送番組審議会事務局長)

平山 亜希子 (編成局編成業務部副部長)

4. 議 題

1. 11/2 (金) 19:00～19:56 M o v i n ' いわて (ムービングいわて)

「吾が住み処<sup>じよ</sup> ここより外<sup>ほか</sup>になし 命と海を守った女」

## 2. その他

### 5. 資料（資料として以下のものを配布）

- ・ 視聴者からのご意見

### 6. 意見

#### 委員側意見

○大変見応えのある番組だった。多くの資料と多くの証言、特に関わった女性の方々の証言が多く撮られていて、それがすごくよかった。

○当時は原発ができるということに対して、まさかこんなことになるとは多分ほとんど誰も考えていなくて、たくさん雇用が増えたり、良い方向にしか考えていなかったと思うが、ああいう時代にもビシッと話すような方がいたことは、結果的に岩手は原発が出来ていないので良かったと言う気がした。

○開拓保健婦の時代の事や、原発の誘致を無くしたことなどは、もっと掘り下げたいテーマ。もし機会があれば掘り下げた内容で岩見さんを取りあげながら、田野畑村を取りあげてくれたらいい。

○開拓夫人の方々のインタビューがすごく良かったが、方言が聞き取れない所があった。方言であることが悪いのではなくそれが伝わってこないことが勿体ないと思った。

○見坊兼雄さんのかかわりが、説明するのが多分時間がかかる事だったと思うので、分かりづらかった所がある。

○時系列で進んでいながらも、岩手に来る前に夫と子供を亡くしたときと、開拓保健婦時代、原発反対運動、短歌活動、それぞれのステージでドラマ性があるのが惹きつけられた。田野畑村の美しい自然の映像も折々で挟んで岩見ヒサさんが守ろうとした自然のかけがえのなさが良く伝わってきた。

○番組は冒頭でヒサさんに関わった人達からのコメントから入っていったが、ヒサさん知らない人にとって、特に原発反対運動に関しては、ヒサさんがどんな人で何をした人だったかを大まかにでも最初に分って頂くために、最初の女性のコメントの時にヒサさんを象徴するような言葉、文字テロップがあっても良かったのかなと思う。

○今こうやって震災を経験すると、先見性のある強い信念を持つ人はやはり必要で、こういった人が人の心を動かして、地域を動かして、その結果、今、私達が救われている事もしみじみ感じて非常に感慨深かった。

○多くの事を丁寧に取材されたが、もう少し取舍選択、整理が必要だったのではないかな。濃淡をつける、伝えたかった部分にフォーカスするという事も検討してみてもどうかと思う。

○厳しい環境の中で戦後の女性が懸命に生き抜いた姿をよく描いていた事、田野畑村の開

拓の歴史がよく分かった事、いずれも戦後の岩手に暮らした女性たちの姿を象徴的に映像化した良い番組だった。

○原発の活動を紹介するシーンでナレーションと言うかコメントが、やや一方的な印象を持った。経済的な価値を認めないと言いますか、言い換えると「お金の話は不純だよ」みたいなトーンがちょっと感じられて、そこが残念だった。賛否のある問題を取り上げる場合には、両方の意見がある程度入れた方が良いのではないか。

#### 局側意見

○物質的な豊かさではなくて精神的なことを一生をかけて求めたという所に、共感した。原発の部分などで、「そろばんをはじく」とか「目先の利益」という部分などは岩見さんに熱を入れすぎて、筆が進んだのかもしれない。

○一番苦労したのが岩見さんが97で亡くなって、今生きていれば100歳だが、当時、原発運動を一生懸命やった方々と言うのが、ほぼ同年代なので、亡くなられていたり、取材を断られる、施設に入っていて認知症が進んでいるなど、諸条件があり、原発についてはもう少し何人かお話を聞いて核心的な部分も聞きたかったが、出来なかったのが実情。

○字幕スーパーを極力減らし、喋った人の皺の一本一本までも見てもらって、顔の表情とか全てから受け取ってもらいたいという意図があったが、やはり伝わらなければ意味がないなとも思った。

○冒頭の方で字幕など工夫して、どういう方なのか？と言う骨組みを冒頭から見せると言うのも、もっともだと感じた。また、冷静に見直して見ると構成が時系列に沿いすぎて、取捨選択とか濃淡があっても良かった。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

公表の方法

- ①自社放送 11月27日(火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載(別添)
- ④自社HPでの掲載 <http://www.tvi.jp/banshin/index.html>